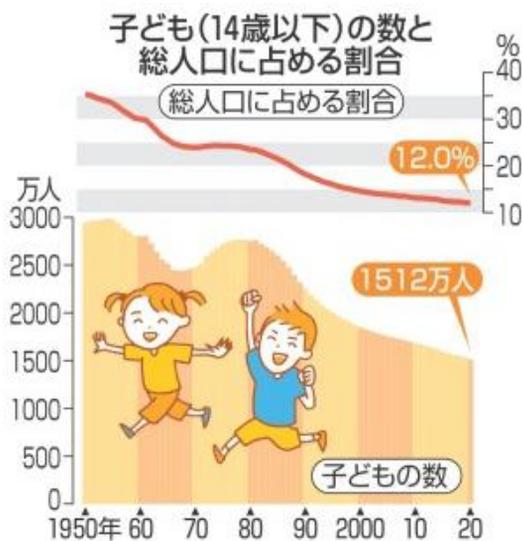


# 子どもの数 39年連続減

推計1512万人、人口の12%



「子どもの日」を前に総務省が4日まとめた4月1日時点の人口推計によると、外国人を含む14歳以下の子どもの数は前年より20万人少ない1512万人で、39年連続で減少した。総人口に占める割合は12・0%で46年連続の低下。いずれも比較可能な1950年以降の過去最低を更新し、少子化に歯止めがかかっていない。

内訳は男子が774万人で、女子の738万人を上回った。3歳ごとの区分では年齢層が下がるほど減少しており、12〜14歳が321万人なのに対し、0〜2歳は275万人。少子化の加速を示している。

国連人口統計年鑑によると、推計時点は異なるものの、人口4千万人以上の32カ国のうち、日本の子どもの割合12・0%は韓国の12・4%を下回り最低だった。日本は65歳以上が28・6%を占めている。

都道府県別データは、2019年10月1日時点の人数を千人単位で公表した。トップは東京の155万3千人、最少は鳥取の7万人で20倍以上の開きがある。兵庫は67万4千人。前年より増えたのは東京だけで、46道府県は減少した。人口に占める子どもの割合は、沖縄の16・9%が最高だった。兵庫は12・3%。最も低いのは秋田の9・8%で、比較可能な1970年以降、全国で初めて10%を下回った。

**人口推計** 5年に1度の国勢調査を基に、その後の出生や死亡、出入国の状況を反映させて算出する。国勢調査がない期間の人口を把握するのが目的。総務省が毎月1日時点の結果を公表し、10月1日時点については都道府県別を含む詳細なデータをまとめている。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ

① 「子どもの日」を前に総務省がまとめた4月1日時点の人口推計について答えましょう。

ア 14歳以下の子どもの数は前年より

万人少ない1512万人で、

年連続で

減少した

イ 14歳以下の人口に占める割合は

%

ウ 65歳以上の人口に占める割合は

%

エ 今後、子どものに人数が増えていくためには日本はどんな取り組みをしたらいいと思いますか。